

晴れの日を迎えた 新成人からひと言



1_式に出て、あらためて成人した実感がわきました。社会人としての自覚を持って仕事に取り組んでいきたいです。ボクシングでプロのライセンスを取り、デビュー戦も決まったので頑張りたいです。阿部麗也さん(右から4人目)

2_自分の行動に責任を持ち、大人としての行動を心掛けていきたいです。遠藤純基さん(左から3人目)

3_成人して社会的に責任が出てくると思います。自分が見本となるような大人になりたいです。齋藤一平さん(右から2人目)

4_恥ずかしくない大人になりたいです。仕事にも責任を持って取り組んでいきたいです。高橋正美さん(中央)

5_住職を目指して、福井県で修行しています。いずれ入る寺の檀家さんに頼られるような住職になりたいです。黒金弘寛さん(右から2人目)



1_町長から成人証書と記念品を受け取る菅井彩瑛さん

2_新成人を代表し、誓いの言葉を述べた外島涼さん

3_「バスガイドになって2年目になります。先日、旅行日を変更してまで私を指名してくれてお客さんがいてうれしかったです。もっと指名をもらえるように頑張ります」とほほ笑む神保乃華さん(左)と友人たち

25年の町成人式は1月13日、学びいなで行われ、男子92人、女子84人の計176人が新成人として晴れの門出を迎えました。式では前後公町長が「お世話になった人への感謝の気持ちを忘れることなく、若さと情熱、揺るぎない信念を持って、自らの人生を切り開いてほしい」と式辞を述べた後、町内6地区の代表者にそれぞれ成人証書と記念品を手渡しました。鈴木武喜町議会議長、小椋山善継県議が祝辞を述べた後、成人代表の外島涼さんが「助け合うことや絆など、震災で本当に大切なことを確かめることができた。この経験を生かし、希望と責任、郷土への誇りを胸に活躍する」と誓いの言葉を述べました。式典終了後は、色とりどりの振り袖や羽織はかまなどに身を包んだ新成人たちが記念撮影をするなど、旧友との再開を喜び合う姿が見られました。

成人おめでとうござります



月輪・長瀬・吾妻地区の新成人



猪苗代・翁島・千里地区の新成人